

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年11月08日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2012000012"/>	整理番号 <input type="text" value="11691"/>	担当者 <input type="text" value="小野 洋一"/>
表 題	複数の振動子に発生する流力不安定振動による発電装置		
技術分野	<input type="text" value="土木・建築"/>	<input type="text" value="電気・電子"/>	<input type="text" value="エネルギー"/>
適用製品	<input type="text" value="風力発電機, 水力発電機"/>		
目 的	本発明は、流れの中に置かれた物体に生じる発散振動から流体の運動エネルギーを獲得し、電力等に変換することを目的としている。発明の特色は、棒状の振動子を複数配置し、上流の振動子によって励起される流れの変動によって下流の振動子を振動させることにある。この機構を連続して配置することにより、複数の振動子が連鎖的に発散振動し、振動子の数だけ獲得するエネルギーを倍加できる。		
技術概要	流力不安定振動は、風や水の流れの中に置かれた物体に生じる発散振動のことで、一度この振動が発生すると発散的に振幅が増大する。本発明は流力不安定振動の一つであるウェイクギャロッピングを利用している。ウェイクギャロッピングは物体の後流に生じる変動流が、下流の物体を振動させる現象であり、送電線や斜張橋の並列ケーブルに発生する。本発明は、ウェイクギャロッピングをしている円柱振動子の下流に配置した円柱振動子にもウェイクギャロッピングが発生し、さらにその下流の振動子にも連鎖的に振動が生じる現象を独自に見出したことに基づいている。複数の振動子が同時に大きく振動する条件を基礎的な実験によって獲得している。 現在の風力発電機は風車と風車の間を十分離して設置する必要がある。これに対して本発明は、逆に振動子を密に並べることを特色としており、発電機の設置スペースの効率を向上させることができる。		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	役職 <input type="text"/>		
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp